

# 再生可能エネルギー出力制御量低減のための技術開発事業

平成30年度予算額 **3.0億円**（新規）

資源エネルギー庁  
省エネルギー・新エネルギー部  
新エネルギー課  
03-3501-4031

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 九州エリアでは、太陽光発電等の再生可能エネルギーの急速な導入に伴い、昼間帯に余剰電力が発生し、出力制御を行う可能性が高まっています。
- 出力制御を行う場合、遠隔で出力制御を行える装置を設置していない発電事業者に対しては、前日に電話やメールにて指令を伝達し、発電事業者は指令を確認した後に出力制御を行うことになり、指令どおりに出力制御を行ったか確認するために発電事業者から実施状況を報告してもらう必要があります。このため、瞬時の出力制御を行うことが困難であり、また、指令どおりに出力制御が行われない場合も想定されるため、電力会社は実際に必要な量より多くの出力制御指令を出す必要があります。
- 本事業では、指令どおりに出力制御が行われたか、人手を介さず遠隔かつ瞬時に確認できる「出力制御実施状況確認システム」を開発することにより、出力制御量の低減を図ります。
- また、出力制御を効率的に実施するため、規模の異なる多数の再生可能エネルギー発電事業者に対して、出力制御を経済的に調整する手法の確立を目指します。

### 成果目標

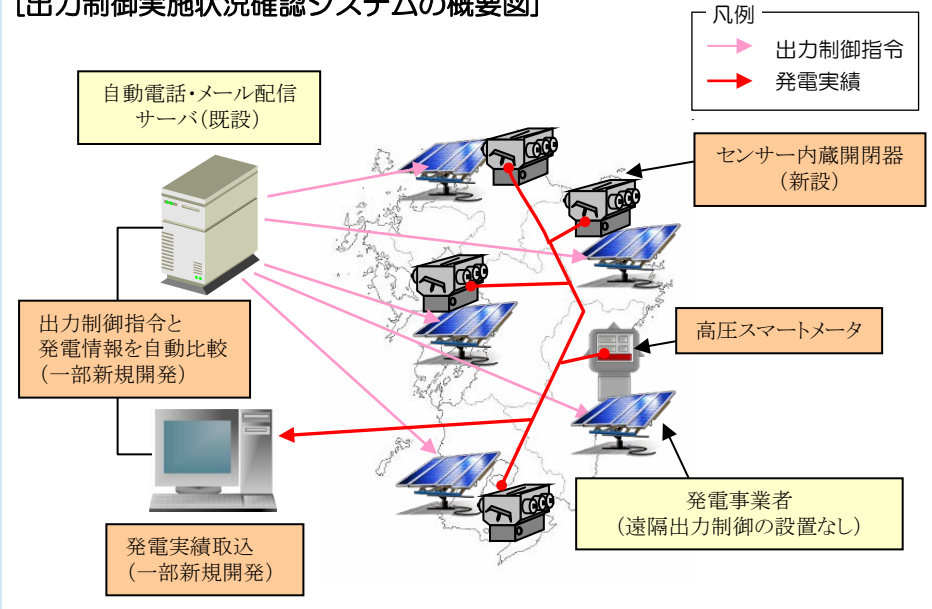
- 出力制御実施状況を人手を介さずに瞬時に把握することができる「出力制御実施状況確認システム」の開発と、出力制御を経済的に調整する手法の確立を目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 〔出力制御実施状況確認システムの概要図〕



### 1. 出力制御実施状況確認システムの開発

- 遠隔出力制御装置を設置していない発電事業者に発電実績計測機器を設置し、電力会社が発電情報を遠隔かつ瞬時に確認できるようにします。出力制御指令と発電情報を自動比較できるシステムを構築することにより、人手を介さず、実施状況を確認できるようにします。

### 2. 出力制御量の低減・経済的手法の確立

- 出力制御を効率的に実施するため、出力制御を経済的に調整する手法の確立を目指します。